

## 平成27年度「学校アンケート」回答についてお知らせします

校長 辻村 一彦

1月末にお願いしました「学校教育自己診断アンケート」へ、多数ご協力いただき、ありがとうございました。紙面を借りて、おもな項目について経年比較した分析結果と今年度の特徴(成果や課題)についてお知らせいたします。

### 1、おもな項目の経年比較について

(1) 「学校へ行くのが楽しい。」の項目で肯定的回答割合 **肯定的…あてはまる・ややあてはまる**

1年生……**83.3%** (現在の中2, 中3の1年時より5ポイント以上高い)

2年生……1年**78.3%**→2年**70.2%** (8.1%下降)

3年生……1年**76.2%**→2年**77.3%**→3年**77.1%** (0.2%下降)

全校生徒の回答は77.3%(1.3%下降)でした。特に2年生の下降幅が気になります。これから最上級生になるに向けて、学習(進学)支援や部活・行事の充実をはかり適切な指導を進めていきます。

(2) 「学校内には気軽に話せる友人がいる。」肯定的回答割合

1年生……**97.3%** (現在の中2、中3の1年時より3ポイント以上高い)

2年生……1年**94.2%**→2年**91.9%** (2.3%下降)

3年生……1年**93.9%**→2年**96.0%**→3年**92.1%** (3.9%下降)

全校生徒の回答は94.0%(1.8%下降)でした。1年生の肯定的な割合の高さが目立ちます。

(3) 「学校のきまりやルールをきちんと守っている。」肯定的回答割合

1年生……**93.3%**

2年生……1年**89.2%**→2年**86.3%** (2.9%下降)

3年生……1年**89.3%**→2年**86.7%**→**89.3%** (2.6%上昇)

全校生徒の回答は89.9%(1.0%下降)でした。3年生がV字で上昇(回復)していることがわかります。本校の生徒は、全学年を通して圧倒的にルールを守って学校生活を送る生徒が多いです。その成果は、学習面や部活動等の成績に大きく表れています。

また、保護者アンケートの項目「お子さんは、頭髪や服装、持ち物などの規則を守っている。」の項目では、96.5%のご家庭が、「あてはまる」と肯定的に回答していただいています。子どもたちの規範意識を高めるにあたり、あらためてご家庭でのご協力に感謝いたします。

## 2、今年度の特徴的な回答について

### 成果(良い点)

- ①「命や人権について学ぶ機会が多い。」と肯定的に回答した生徒が80%以上になり、昨年度より4.4%上昇しています。各学年で人権問題については、差別を受けた当事者からの聞き取りをはじめ、「道徳の時間」でとりあげた教材により、命や人権についてしっかり学んでくれた証だと思います。
- ②「生徒会活動に関心を持ち協力している。」と肯定的に回答した生徒が61.1%になり、昨年度より4.9%上昇しています。生徒会本部では、「朝のあいさつ運動」の活性化、おそうじキャンペーン、いじめゼロへの取組み（標語作成・話し合い）など、新しい取組みを次々と打ち立ててくれました。
- ③「少人数授業は全体で受ける授業よりわかりやすい。」と肯定的に回答した生徒は、63.5%になり、昨年度より12.1%と大幅に上昇しました。授業で習熟度別クラス編成を行うなど、工夫した成果が表れています。
- ④保護者アンケートからは、「参観・懇談会の日程回数は適切である。」「学校からの家庭連絡（たより・メール配信）を適切に行っている。」と肯定的に評価していただいております。

### 課題（改善を要する点）

- ①「学校へ行くのが楽しい。仲のいい友達がいる。」と肯定的にとらえている生徒が少しずつ減少していることは重く受け止めています。この課題を改善するためには、金剛中学校の「授業づくり・仲間づくり・集団づくり」をしっかりと見直して、生徒と先生、生徒どうしのつながりを深めていく取組みを進めていきます。
- ② 保護者アンケートの回答からは、「教員の授業の工夫」「少人数授業の授業内容」「学校の環境整備への取組み。」について、いずれも「わからない。」と回答される割合が30%前後あり、保護者のみなさんには「情報がなくて判断できない。」状況になっていることが分かりました。次年度は、「学校だより」「ホームページ・ブログ」「学年・学級通信」等を通して、情報発信していく必要性を感じています。

以上、このアンケート結果を真摯に受け止め、改善に努めてまいりますので、今後とも、本校教育に対しまして、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。